



若者に絵を描く喜びを伝えたい

シリーズまち・ひと・しごと #67 画家 いない ふみあき 稲飯 文昭 さん

子どもの頃から絵が得意だったんですか？絵を描くようになったきっかけを教えてください

特別得意だったというわけではないですが、遊びのひとつとしてよく描いていました。私の子ども時代はゲームもなく、外で野球をするとか、紙と鉛筆で何か描くとか、それぐらいしかない時代でしたから。

そんな中で、小学校の先生に褒められたことが嬉しくて、絵が好きになっていった気がします。

あと、10歳のときに学校の映画鑑賞会で観た『フランダーズの犬』が大きな影響を与えてくれました。絵描きを夢見る少年ネロの姿に、自分を重ねたのかもしれない。

そこから絵の世界で生きていきたいと、ぼんやりと思い描くようになっていきました。

本格的に絵を描き始めたのは16歳のときです。

有楽町で偶然「モリス・ユトリロ展」を見かけて、何気なく入ってみたら、心を揺さぶられました。ユトリロは決して裕福ではなく、若い頃は荒れた生活を送っていたと聞いています。

それでも、パリの街角を描き続けて、最終的には「世界で最も売れた画家」と呼ばれる存在になりました。その生き様と、どこか哀愁を帯びた絵の世界に強く惹かれて、自分も描いてみたいと思ったんです。

後日、東京の画材屋で筆と絵の具を買って、見よう見まねで描き始めたのが始まりです。

いい町 利根町 あなた待ち /

TONE

広報とね

2025年5月号



今月の表紙

表紙の写真は、利根町羽根野在住の画家稲飯文昭さんです。今回のシリーズまち・ひと・しごとでは、絵画から彫刻まで町内外で活躍する稲飯さんをご紹介します。ぜひご覧ください。



～利根町百景～

今月の利根町百景は、利根町図書館の空を優雅に泳ぐ「鯉のぼり」です。

この鯉のぼりは、町民の方から寄贈された50年前のもので、毎年、こどもの日が近づくと空高くあげられて、図書館を訪れる人々を楽しませてくれます。

鯉のぼりは、急流をのぼって龍になるという中国の伝説「登竜門」に由来し、子どもたちの健やかな成長を願う日本の伝統行事です。

利根町の空を悠々と泳ぐ鯉のぼりには、次世代を担う子どもたちへの願いが込められています。

利根町図書館

- 住所 利根町下曾根 278-1
- 駐車場 あり

情報をお寄せください

広報とね「利根町百景」は、読者の皆さまより寄せられた情報をご紹介します。利根町で見つけた美しい景色、珍百景、新百景など、利根町の魅力となる身近な情報を写真付きでお寄せください。

【応募方法】
総務課「利根町百景」係まで写真をメールで送付してください。

広報とね4月号のお詫びと訂正

広報とね4月号2ページの「利根町百景」において、本文に誤りがありました。

【正】愛媛県の元教師
【誤】愛知県の元教師

町民の皆さま並びに関係各位にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともにここに訂正させていただきます。

もくじ -contents-

広報とね 2025年5月号

- 2 利根町百景／もくじ
- 3 シリーズまち・ひと・しごと #67
画家 稲飯 文昭さん
- 6 旧文小学校が健康増進等複合施設に生まれ変わります。
- 8 まちの話題 PHOTO NEWS
- 10 令和7年度利根町予算と主要事業
- 14 暮らしの情報欄
- 17 町長の手紙
- 19 ぼうさい掲示板
- 20 お知らせ -TONE Information-
- 23 男女共同参画ってなあに？ Part133
- 24 日本ウェルネススポーツ大学通信
／フリフリグッパ体操／とねワイワイくらぶ
- 26 地域おこし協力隊通信
こんにちは！★生活環境課です
認知症地域支援推進員のお知らせ No.81
- 28 保健福祉センターだより
- 30 こんにちは！！とね子育て支援センターです
わが家のアイドル写真館
- 31 図書館へ行こう



利根町公式 SNS は
こちらの二次元コードをスキャン

